

まほらに吹く風に乗って

<日本の美しい風景と歴史のプチディクショナリ>

地域に眠る埋もれた歴史シリーズ (1)

筑波四面薬師と塔のある風景



ふるさと“風”の会

(はじめに)

奈良時代後期から室町時代初期に、法相宗を学んだ僧・徳一は都から東国にやって来た。そして延暦元年(782年)に筑波山に中禅寺を建て、これを守護するため、この東西南北の四面に薬師を配した。これが筑波四面薬師である。筑波山が長い間人々の信仰のよりどころとなっていた時はこの薬師にも多くの人々が訪れていた。しかし時代が経つにつれて、その一部は姿を消し残っている足跡も薄くなり始めている。

その四面薬師の跡を追いかけて見ると、そこには懐かしい景色が広がり、筑波裏山に並ぶ塔のある景色が迫ってきた。

(目次)

筑波四面薬師を訪ねて

- (1) 筑波四面薬師 - 菖蒲沢薬師 1
- (2) 筑波四面薬師 - 北面薬師(山寺)跡 5
- (3) 筑波四面薬師 - 東城寺(土浦) 15
- (4) 筑波四面薬師 - 椎尾薬師(桜川市) 24
- (5) 再び椎尾薬師へ 31

塔のある風景を訪ねる

- (6) 三重塔など美しい塔が並ぶ 36
- (7) 雨引観音(桜川市) 45
- (8) 富谷観音 51
- (9) 板橋不動尊 56
- (10) 来迎院多宝塔 62

その他、徳一法師の寺を巡る

- (11) 西光院(関東の清水寺) 65
- (12) 月山寺(桜川市) 68

まほらに吹く風に乗って

<日本の美しい風景と歴史のプチディクショナリ>

地域に眠る埋もれた歴史シリーズ (2)

常陸の養蚕神社に行く



ふるさと“風”の会

(はじめに)

日本に養蚕技術がどのように伝わったのかはまだよく分かっていません。しかし古来より絹が貴重な財産ともなっていたことは知られています。中国が絹を生産し、シルクロードを通じて世界に絹を売る一大貿易ルートが存在した頃から、日本でも絹の製法が伝わっていました。

江戸時代には日本全国に養蚕は広まり、各地の農家では米のほかの貴重な収入源として桑の木を植え、蚕を育て大切に保護してきました。

この養蚕を祀る神社は日本全国にあります、この常陸国の三社がその元になったとも言われています。

そこで、この三蚕神社を訪ね歩いてみました。

どんな景色が見えてきたでしょうか。

(目 次)

(1) 金色姫伝説と常陸国の三蚕神社	1
(2) 蚕影山神社 (つくば市神郡)	4
(3-1) 蚕養神社 (日立市豊浦)	7
(3-2) 小貝浜 (蚕飼浜)	13
(3-3) 館山神社 (日立市川尻)	17
(4-1) 蚕霊神社 (神栖市)	22
(4-2) 蚕霊山星福寺	26
(5) 静神社 (常陸国二の宮)	29
(6) 長幡部神社 (常陸太田)	36
(7) 大桑神社(結城市小森)	43
(番外 1) ねこ神様	47
(番外 2) 石岡市イベント広場の変遷	49

まほらに吹く風に乗って

<日本の美しい風景と歴史のプチディクショナリ>

地域に眠る埋もれた歴史シリーズ (3)

童女の松原伝説を求めて



ふるさと“風”の会

(はじめに)

常陸国風土記の鹿島郡のところに書かれている「童子女(うない)の松原」の男女の話を追いかけて見ました。

この松になってしまったという男女(那賀の寒田のいらつこ、海上の安是のいらつめ)を祀る手子后神社を巡ります。

ここから何かが見えるかもしれません。

古代鹿島郡の成立とかかわりがあったのでしょうか？

松の木になった男女の話からその裏を探ってみたくくなりました。

(目次)

(1) 童子女の松原(うないのまつばら)	1
(2) 手子后神社(神栖市)	11
(3) 手子后神社(石岡市)と中津川	19
(4) 手子后神社(水戸市元石川町)	26
(5) 手子后神社(水戸市田島町)	32
(6) 手子后神社(城里町上坏)	33
(7) 手子后神社と古墳(1)	40
(8) 手子后神社と古墳(2)	43
(9-1) 手子后神社と古墳(3)	46
(9-2) 十二所神社(水戸市牛伏)	50
(10) 手子后神社と古墳(4)	53

まほらに吹く風に乗って

<日本の美しい風景と歴史のプチディクショナリ>

地域に眠る埋もれた歴史シリーズ (4)

府中六井と養老の滝伝説



ふるさと“風”の会

(はじめに)

常陸府中（石岡）は酒の名所でもありました。そこには街を潤す豊富で良質な湧き水があったのです。

この湧き水を府中六井とって大切にしてきました。しかし水道の発達、開発により湧き水も水量が大幅に減り、また多くが枯れてしまいました。これらの井戸（六井）は必ずしも六ヶ所とは限らなかったようですが、かつて栄えた府中（石岡）の泉を探し巡ってみました。

石岡には関東養老の泉といわれる「親は諸白、子は清水」という伝説が残されています。こちらも同時に探って見たいと思います。

(目 次)

(1) 府中六井 (1) -杉の井	1
(2) 杉の井と茶屋場	4
(3) 府中六井 (2) -石井の泉	8
(4) 府中六井 (3) -小目井	12
(5) 府中六井 (4) -室ヶ井と景清	17
(6) 府中六井 (5) -鈴負井	20
(7) 府中六井 (6) -野々井と大蛇	22
(8) 総社のおみたらし	25
(9) 村上のおみたらし	29
(10) 筑波六井	32
(11) 尾花散る師付の田井	34
(12) 井白の泉	38
(13) 養老の滝伝説-子は清水	39
(14) 養老の滝伝説-その意味するもの	43
(15) なま（鮮魚）街道と子は清水	47

まほらに吹く風に乗って

<日本の美しい風景と歴史のプチディクショナリ>

地域に眠る埋もれた歴史シリーズ (5)

民族芸能と祭り



ふるさと“風”の会

(はじめに)

日本全国には変わった祭りや風習が残されています。
この石岡地方周辺でも、各所で伝えられ守られてきたこれらの祭りや風習
があり、全て伝統芸能というように考えてよいと思います。

しかし、意外に知られていないものが多くあり、その中には民俗学的にも
大変興味深いものが散見されます。

ここではそれらの祭りや風習などを集めて見ました。

ここで取り上げていないものにもとても興味深い祭りなどがありますの
で、そちらはまたの機会に続報として取り上げてみたいと思います。

(目 次)

(1) マダラ鬼神祭 (桜川市雨引観音)	1
(2) 悪態まつり (笠間市岩間飯綱神社)	24
(3) 常行三昧会 (行方市西蓮寺)	29
(4) 真家みたまおどり (石岡市真家)	44
(5) じゃかもこじゃん (石岡市柿岡)	51
(6) 染谷十二座神楽 (石岡市染谷)	66
(7) 木之地のみろく (石岡市木之地)	75
(8) 天狗土面 (笠間市宍戸)	78
(9) 代田の大人形 (ダイダラボッチ) (石岡市代田)	80

まほらに吹く風に乗って

<日本の美しい風景と歴史のプチディクショナリ>

地域に眠る埋もれた歴史シリーズ (6)

美浦・阿見に行く



ふるさと“風”の会

(はじめに)

むかし茨城郡に入るにはこの美浦村あたりから海(現霞ヶ浦)を渡ってやってきました。常陸国風土記では茨城郡を表す枕詞に「水泳る(くぐる)茨城の国」と表しています。美浦村は昔「日高見の国」と呼ばれていた時代があったようです。都からやって来て北の蝦夷と対峙していた時代です。そしてここから北を目指しました。今は鉄道や道路ができ沼地だった所には町ができ大昔を想像することもたやすくはありません。少しでも昔の事を偲びながら美浦・阿見地方を散策してみました。

(目次)

(1) 縄文時代を貝塚に見た(陸平貝塚)	1
(2) 物部氏の残した足跡	9
(2-1) 木原の楯縫神社		
(2-2) 信太の楯縫神社		
(3) 二つの阿弥神社(阿見町)	17
(3-1) 阿弥神社(中郷), (3-2) 阿弥神社(竹来), (3-3) 古女子神社		
(4) 竹来三社(阿見町)	29
(4-1) 竹来三社と鹿島三社		
(4-2) 室崎神社		
(4-3) 十握神社		
(4-4) 廻戸稻荷社?		
(5) 弁天塚古墳 - 黒坂命古墳	39
(6) 山王山古墳	42
(7) 木原城跡と永巖寺(木原)	44
(8) 土屋稻荷神社と土浦藩土屋家	48
(9) 信太小太郎伝説	51
(9-1) 佐倉神社		
(9-2) 普賢院		
(9-3) 西福寺		
(10) 来迎院 - 苺萱姫伝説	60
(11) 鹿島神社(阿見町吉原) - 御神木にやどり木	62
(12) 予科練平和公園と武器学校	64
(13) 自衛隊霞ヶ浦駐屯地	69

まほらに吹く風に乗って

<日本の美しい風景と歴史のプチディクショナリ>

地域に眠る埋もれた歴史シリーズ (7)

江戸崎・稲敷を行く



ふるさと“風”の会

(はじめに)

江戸崎は水辺の街です。鉄道は通っていませんが独特の歴史が眠っているようです。常陸国風土記に書かれている「榎浦の津は、東海道常陸路の入り口で、駅家が置かれてある」とある「榎浦の津」の場所が江戸崎と考えられるのか？ などと思いを巡らせて市内を散策してみました。そこに見えてきたものは、古くからの歴史と人々の暮らしです。

(目次)

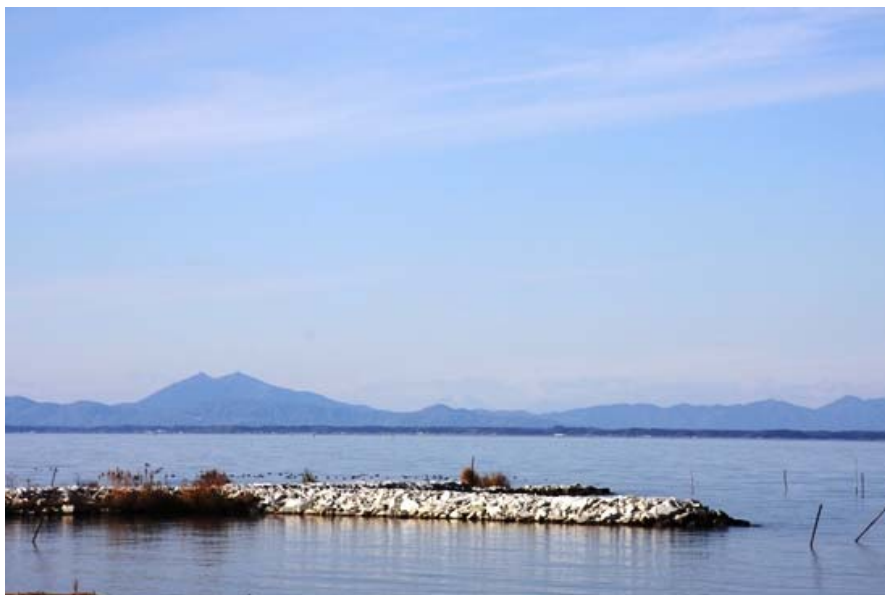
(1) 江戸崎の景 (茨城百景)	1
(2) 羅漢山	6
(3) 瑞祥院	10
(4) 不動院 (天海僧正のいた寺、関東八ヶ壇林)	13
(5) 管天寺 (土岐原氏の寺)	20
(6) 大念寺 (芦名氏の菩提寺、家康ゆかりの寺)	24
(7) 鹿島神社 (江戸崎)	28
(8) 歴史の足跡	32
(9) へっぴり坂	34
(10) 吉祥院 (天海が逃げ込んだ寺)	38
(11) 円蜜院と大聖歓喜天	41
(12) 江戸崎の街並み	45
(13) 水辺の街	53
(14) リバーサイドパーク	56
(15) 稲敷の名前	59

まほらに吹く風に乗って

<日本の美しい風景と歴史のプチディクショナリ>

地域に眠る埋もれた歴史シリーズ (8)

浮島・阿波を行く



ふるさと“風”の会

(はじめに)

茨城県と千葉県の間には利根川があるが、安房国や海上国と常陸国の境域には昔の何かが残されていそうである。

常陸国風土記に「葦原の中津の国」とも記されているこの地方だが、大昔は流れ海・香取の海などと言われた大きな内海とそこに平和に暮らしていた縄文人がいた。

そこにはどんな景色が見えてくるのだろうか。

(目 次)

(1) 茨城百景古渡の湖畔	1
(2) 興禅寺 - 不許葦酒入山門	6
(3) 景行天皇行在所跡 (お伊勢の台)	9
(4) 浮島と製塩 (広畑貝塚)	13
(5) 毘沙門堂 (馬渡：まわたり)	18
(6) 大杉神社 (総本山)	24
(7) 安穏寺 - 常陸坊海尊	26
(8) 満願寺 (阿波崎)	30
(9) 龍神蛇神	35
(10) 永楽寺 (阿波崎)	37
(11) 神宮寺	40
(12) 神宮寺城跡	45
(13) 高田神社	49
(14) 逢善寺	52
(15) 阿弥陀寺	64
(16) 和田岬と和田公園 (浮島)	67

まほらに吹く風に乗って

<日本の美しい風景と歴史のプチディクショナリ>

地域に眠る埋もれた歴史シリーズ (9)

常陸国における親鸞の足跡を求めて



ふるさと“風”の会

(はじめに)

浄土真宗の生みの親「親鸞」が常陸国で布教活動をしていたことはあまり知られていない。親鸞は流罪となった越後で4年を過ごし、罪を許されてから常陸国に妻子を伴ってやってきた。小島(おじま)、稲田などの草庵を結んで布教につとめると同時に浄土真宗の教本「教行信証」を作成しています。常陸国の各地を回るうちにこの親鸞の足跡がひっそりと残されているのを知りました。親鸞聖人についてはあまりにも知られていないことが多く、その存在さえ疑われたりしたことさえあります。その親鸞聖人の常陸国における足跡を探しながら巡って見ました。

(目次)

(1) 小島草庵跡	1
(2) 稲田草庵跡(西念寺)	5
(3) 大山草庵跡	11
(4) 阿弥陀寺(額田)	14
(5) 法龍寺-親鸞の孫「如信」が没した地	20
(6) 願入寺(大洗)-如信の草庵継承寺	25
(7) 報佛寺 - 嘆異抄作者唯円の開基の寺	35
(8) 大覚寺-親鸞法難の遺跡	42
(9) 明円寺(石岡市真家)	47
(10) 無量寿寺(鉾田市)	50
(11) 爪書阿弥陀堂(石岡市高浜)	56
(12) 親鸞聖人の御経塚	59
(13) 如来寺(石岡市柿岡)	62
(14) 二人の唯信房-幡谷の唯信	64
(15) 二人の唯信房-戸森の唯信	70
(16) とりのこみち(1)-善徳寺	77
(17) とりのこみち(2)-照願寺	82
(18) 光明寺(下妻)-柵道場	89

まほらに吹く風に乗って

<日本の美しい風景と歴史のプチディクショナリ>

地域に眠る埋もれた歴史シリーズ (10)

かすみがうら出島に行く



ふるさと“風”の会

(はじめに)

茨城県かすみがうら市は旧千代田町と霞ヶ浦町が平成合併してできた。その前は出島村といった。霞ヶ浦の西側は二つの入江が伸びており、ひとつは土浦市と接しており、もう一つは石岡市に接している。

この二つの入江に挟まれて霞ヶ浦に飛び出した地域を出島といった。

明治の初め頃までは霞ヶ浦の水運で結構盛んな時期もあったが、鉄道や車社会になると人の行き来が減り、取り残されたような場所となった。バスも神立駅から1日数本しか出ていない。しかし、訪れてみてここにもたくさんの宝が眠っていた。

(目次)

(1) 歩み崎公園 1	(17) 志戸崎地区 52
(2) かすみがうら水族館 4	(18) 太子古墳(安食) 58
(3) 歩崎観音 5	(19) 宍倉平・福蔵寺 61
(4) 田伏城と実伝寺 14	(20) 空也堂 64
(5) 南円寺 17	(21) 堂山千手観音堂 67
(6) 奉安殿 22	(22) 二つの村社(1) 70
(7) 椎名家住宅 24	(23) 二つの村社(2) 72
(8) 崎浜横穴古墳 26	(24) しし土手 76
(9) 宍倉城本丸跡 29	(25) 成井八坂神社 77
(10) 戸崎城跡 31	(26) 霞ヶ浦大橋 81
(11) レンコン田 36	(27) 柏崎素鷲神社 83
(12) ナギの木 38	(28) 柏崎地区 88
(13) 牛渡鹿島神社 40	(29) 出島の椎 90
(14) 霞ヶ浦を渡る牛 44	(30) 長福寺 93
(15) 坂本九と霞ヶ浦 46	(31) 鹿島神社(田伏) 95
(16) 坂地区二の宮 47		

まほらに吹く風に乗って

<日本の美しい風景と歴史のプチディクショナリ>

地域に眠る埋もれた歴史シリーズ (11)

真壁と小栗の里に行く



ふるさと“風”の会

(はじめに)

石岡から峠を一つ越えたところに真壁の街はある。ここは3月のひな祭りと石の産地で知られ、江戸時代の建物なども残っており興味深い地域である。

しかし、なかなかこの地は歴史的にも単純でなく書き出すと調べることが多くなってなかなかまとまらない。ここを知るには平将門、平良兼(国香の弟)、菅原道真、真壁氏、赤穂浪士の浅野家などを思い浮かべておく必要があるようだ。

また、後ろに旧協和町地域を加えた。ここには古代新治郡の郡衙が置かれた場所であり、その郡衙近くに小栗判官伝説で知られた小栗の里がある。歌舞伎や浄瑠璃として演じられてきた演目であるが、この小栗地方で実際に起こった話と対比してみるとかなりおもしろいことがわかってきそうである。あまり訪れる機会はずくない場所ではあるが、これらの少しの知識を持って歩いてみるとどこか懐かしい思いも感じることができるだろう。

(目次)

(1) 真壁氏累代の墓 1	(16) 小栗の里散策 51
(2) 五所駒滝神社 6	(17) 内外大神宮 54
(3) 真壁城址 13	(18) 小栗城跡 58
(4) 白壁と真壁 15	(19) 小栗判官伝説について	... 62
(5) 伝正寺 18	(20) 小栗判官建立の太陽寺供養塔	... 65
(6) 真壁伝承館 21	(21) 小栗判官の供養塔と一向寺	... 69
(7) 花の井酒造 23	(22) 西光寺 71
(8) 羽鳥天神塚古墳 25	(23) 徳聖寺 73
(9) 羽鳥地区 28	(24) 新治郡衙 75
(10) 旧筑波線真壁駅 30	(25) 新治廃寺跡 78
(11) 奉安殿 32	(26) にひばりの里 81
(12) 村井醸造 34		
(13) 旧真壁郵便局 37		
(14) 陣屋と街並み 40		
(15) 密弘寺 48		

まほらに吹く風に乗って

<日本の美しい風景と歴史のプチディクショナリ>

地域に眠る埋もれた歴史シリーズ (12)

水郷潮来・牛堀・延方を行く



ふるさと“風”の会

(はじめに)

潮来と言えば水郷とアヤマでしょうか。昔栄えた水運はここを江戸の香りのする商人たちが行き来する粋な街にしていました。そのような潮来のイメージに沿った町歩きをしていくと、地盤のわるい日の出地区などでは東日本大震災で大きな被害のあった場所もありました。また、潮来から鹿島方面に少し行ったところに延方という地域があります。ここにはかつて水戸藩の「延方郷校」があり、その関連施設を見て回るうちに水郷潮来とはまったく別な顔があり、水戸藩との関係や天狗党の悲惨な歴史も見えてきました。

(目次)

(1) 長勝寺 1	(16) 大六天神社 51
(2) 稲荷山 5	(17) 二十三夜尊と延方郷校孔子堂 54
(3) 西円寺 7	(18) 硯宮神社 56
(4) 潮来のアヤマ 9	(19) 内田山と延方郷校跡 59
(5) 大門河岸・上米河岸 13	(20) 鹿嶋吉田神社 62
(6) 加藤洲 15	(21) 潮来郷校跡 65
(7) 与田浦 18	(22) 潮来陣屋跡 69
(8) 佐原水生植物園 20	(23) 素鷲熊野神社 73
(9) 常州牛堀と横利根川 21	(24) 愛染院 77
(10) 権現山公園 40	(25) 普門院 80
(11) 三熊野神社 41	(26) 鯛川となさか夕日の郷 82
(12) 牛堀諏訪神社の板碑 43	(27) 天狗党の墓(鹿嶋) 87
(13) 観音寺 45		
(14) 潮音寺・薬師寺東関東別院 48		
(15) 浄国寺と茶村の墓 50		

まほらに吹く風に乗って

<日本の美しい風景と歴史のプチディクショナリ>

地域に眠る埋もれた歴史シリーズ (13)

鹿島神宮と鹿島地方に行く



ふるさと“風”の会

(はじめに)

常陸国一の宮の鹿島神宮は誰でも知る特別な場所です。

しかし、その歴史などを紐解いていくためにその廻りの関連の深い神社や史跡を巡って見ました。

どこまでこの有名なこの神宮の素顔を垣間見ることができたかどうか？
あまり人の訪れない興味深い場所も含めて紹介します。

(目 次)

- | | | | |
|--------------------|------|-------------------|-------|
| (1) 鹿島神宮-一の鳥居 | ……1 | (16) 塚原卜伝-長吉寺 | ……57 |
| (2) 鹿島神宮-神宮橋 | ……10 | (17) 鎌足神社 | ……58 |
| (3) 鹿島神宮-二の鳥居 | ……11 | (18) 根本寺(鹿嶋)-芭蕉句碑 | ……60 |
| (4) 鹿島神宮-拝殿の向き | ……14 | (19) 鹿島城山公園 | ……63 |
| (5) 鹿島神宮-要石 | ……19 | (20) 大儀寺-芭蕉月見の寺 | ……66 |
| (6) 鹿島神宮-鹿苑と東雄桜 | ……24 | (21) 福泉寺 - 穴寺 | ……77 |
| (7) 鹿島神宮-奥宮 | ……29 | (22) 近津神社 | ……80 |
| (8) 鹿島神宮-御手洗池 | ……31 | (23) 大福寺-景清の娘人丸の寺 | …84 |
| (9) 鹿島神宮-三笠神社と高房神社 | …34 | (24) 津賀城跡 | ……89 |
| (10) 鹿島神宮-跡宮 | ……39 | (25) 汲上観音 | ……92 |
| (11) 鹿島神宮-香島大神 | ……44 | (26) 鹿島七釜 | ……95 |
| (12) 鹿島神宮-沼尾神社 | ……48 | (27) 薬師堂宝蔵院(武与釜) | ……100 |
| (13) 鹿島神宮-坂戸神社 | ……51 | (28) 遍照院(境釜) | ……105 |
| (14) 鹿島神宮-境内附郡家跡 | …53 | (29) 慈眼寺(浜津賀) | ……106 |
| (15) 塚原卜伝の墓 | ……55 | (30) 大光寺照明院(白鳥の里) | …108 |

まほらに吹く風に乗って
＜日本の美しい風景と歴史のプチディクショナリ＞

地域に眠る埋もれた歴史シリーズ (14)

香取神宮とその周辺に行く



ふるさと“風”の会

(はじめに)

鹿島神宮と香取神宮は神話の世界では武人の勇を祀る特別な神社です。昔の香取の海(現霞ヶ浦から利根川一体の内海)の入口の両側をしっかりとおさえ、総の国・常陸の国を統括しています。また北の蝦夷の国への入り口として重要な位置を占めていました。ここでは香取神宮とその摂社と言われる場所などを廻って見て、この神宮の姿を考えてみたいと思います。

(目次)

(1) 香取神宮-入口から要石	1
(2) 香取神宮-随神門	4
(3) 香取神宮-本殿	9
(4) 香取神宮-奥宮	18
(5) 香取神宮-雨乞塚	21
(6) 香取神宮-津宮の浜鳥居	23
(7) 香取神宮旧参道	26
(8) 又見神社-香取神宮摂社	30
(9) 返田神社-香取神宮摂社	36
(10) そばたか神社 (1) -側高神社 (香取市大倉)	39
(11) そばたか神社 (2) -側鷹神社(行方市)	45
(12) 大戸神社	50
(13) 神崎神社	55
(14) 大龍禅寺	61
(15) 観福寺	65
(16) 玉田神社	69
(17) 多田朝日森稻荷	75
(18) 切手神社	76
(19) 頭白上人塚	79
(20) 西蔵院	82

まほらに吹く風に乗って

<日本の美しい風景と歴史のプチディクショナリ>

地域に眠る埋もれた歴史シリーズ (15)

息栖神社と神栖地方に行く



ふるさと“風”の会

(はじめに)

息栖神社は鹿島、香取神宮とともに東国三社と呼ばれ、江戸時代には伊勢参りと共に鹿島・香取・息栖を巡る三社参りが盛んに行われていました。江戸からは水運で佐原（香取） - 鹿島 - 潮来・息栖などと回っていたようです。今では江戸川、利根川、水郷、霞ヶ浦などの水運（船）はすっかりその存在すら忘れられそうになっています。ここではその今はひっそりと建つ息栖神社とその周辺を廻って感じたことなどを書き留めておきたいと思います。

(目 次)

(1) 息栖神社-東国三社	1
(2) 息栖神社-句碑	7
(3) 息栖神社-忍潮井	12
(4) 息栖神社-遷座	17
(5) 神之池（神栖）	20
(6) 波崎港（茨城県東南端）	24
(7) 波崎海岸	30
(8) 神善寺（波崎舎利）	34
(9) 益田神社、日之本八幡神社	40
(10) 広憧院（神栖）	44
(11) 潮来から息栖 -川に沿って	46
(12) 息栖から川に沿って-高浜	51
(13) 南北朝時代の忘れもの「船頭の宮」	58
(14) 宝蔵院	62
(15) 小見川大橋と息栖大橋	64
(番外) 於岐都説神社(行方市)	68

まほらに吹く風に乗って

<日本の美しい風景と歴史のプチディクショナリ>

地域に眠る埋もれた歴史シリーズ (16)

佐原の街と

天保水滸伝の里に行く



ふるさと“風”の会

(はじめに)

佐原の町は香取神宮の門前町であり、江戸時代には霞ヶ浦の水運で栄えた町です。伊能忠敬を輩出するとともに水郷情緒あふれる水辺と一体となった江戸勝りと言われた商人の街として独特の雰囲気を持っています。今では香取市に名前は変わりましたが、この町を何度か訪れましたので、その魅力の一部を紹介したいと思います。

また隣の東庄町は香取市と銚子市にはさまれた町です。ここを訪れると相撲や天保水滸伝の看板を良く見かけます。ここに来るまでは何も興味も無かったこの東庄町笹川の繁蔵一派と九十九里浜側の飯岡の助五郎一派の争い「天保水滸伝」の舞台となった地を探ってみたいとの思いがわいてきました。所詮任侠物の世界ではあるが、このような離れた二つの土地でこの描かれた世界がかなり違っているのも興味がわいたのです。この歴史も地方の埋もれた歴史の世界に入れておかねばならないように思います。

(目次)

(1) 佐原の大祭 1	(2) 佐原山車会館 11
(3) 佐原の街並み 16	(4) 佐原諏訪神社 24
(5) 八坂神社 27	(6) 佐原三菱館 29
(7) 伊能忠敬像 33	(8) 水郷佐原の街並み 34
(9) 東庄町と天保水滸伝 51		
(9-1) 諏訪大神		(9-2) 天保水滸伝遺品館	
(9-4) 大利根河原		(9-3) 笹川港	
(9-5) 笹川繁蔵の最後地		(9-6) 笹川繁蔵の首塚	
(9-7) 飯岡助五郎の墓(飯岡)		(9-8) 玉崎神社(飯岡)	
(9-9) 笹川繁蔵、平手造酒の墓		(9-10) 清滝佐吉伝承碑	
(10) 須賀山城跡 73	(11) 須賀山東福寺 78
(12) 桜井浜鳥居 80	(13) 東大社 81
(14) 菅原大神 83	(15) 雲井岬 85
(16) 大原幽学遺跡 86		

まほらに吹く風に乗って

<日本の美しい風景と歴史のプチディクショナリ>

地域に眠る埋もれた歴史シリーズ (17)

小田・北条・神郡を行く



ふるさと“風”の会

(はじめに)

つくば市北条地区から小田地方は中世までは小田氏が大きな勢力を持っていました。また北条地区には桓武平氏の直系の多気氏(平氏)が常陸国の大掾職を務め絶大なる権力を持っていました。江戸時代に入ると筑波山詣でが盛んとなり、この門前町として商業も発展していきました。ここではそんな昔を知る場所を巡ってみました。

この冊子を読んで、少し昔の面影を感じてはいただければ大変うれしく思います。

(目次)

(1) 小田城跡	・・・ 1	(14) 無量院(北条)	・・・ 37
(2) 平沢官衙 - 筑波郡衙跡	・・・ 4	(15) 全宗寺(北条)	・・・ 40
(3) 極楽寺跡	・・・ 8	(16) 熊野神社(北条)	・・・ 43
(4) 清滝観音	・・・ 12	(17) 北条氏	・・・ 46
(5) 六所神社(跡)と白滝古道	・・・ 16	(18) 北条街づくり	・・・ 48
(6) 筑波古道 - つくば道	・・・ 19	(19) 店蔵(宮清商店)	・・・ 51
(7) 露盤石	・・・ 21	(20) 飯名の社	・・・ 60
(8) 市の神	・・・ 23	(21) 薬師堂(つくば-飯名)	・・・ 67
(9) 五輪塔-北条八坂神社	・・・ 25	(22) 石倉璃厨(RIZ)	・・・ 69
(10) 五輪塔-多気太郎	・・・ 28	(23) 筑波山神社	・・・ 67
(11) 五輪塔-頭白上人の供養塔	・・・ 31	(24) 大御堂(筑波山)	・・・ 71
(12) 日向廃寺跡(北条)	・・・ 34	(25) 泉子育観音(慶龍寺)	・・・ 74
(13) 毘沙門天種子(北条)	・・・ 36		

まほらに吹く風に乗って
＜日本の美しい風景と歴史のプチディクショナリ＞

地域に眠る埋もれた歴史シリーズ (18)

旧玉里村に行く



ふるさと“風”の会

(はじめに)

小美玉市の玉里地区(旧玉里村)は常陸国風土記にもヤマトタケルがよく水が溜まれる場所といわれた場所である。石岡からは高浜から湖に沿って少し行った場所で、レンコン栽培も盛んで霞ヶ浦から見る筑波山も美しい場所である。また、石岡とは歴史的には大掾氏とのつながりも多く関連性が多く残されている。そんな旧玉里村を散策して気がついたことなどを紹介します。

(目次)

(1) モチモチの木	1
(2) 高崎、下玉里地区	5
(3) 素鷲神社	13
(4) 大宮神社	16
(5) 玉の井跡	18
(6) 小舟塚神社(大井戸古墳)	20
(7) 岩屋古墳	22
(8) 権現山古墳	24
(9) 舟塚古墳	26
(10) 雷電山古墳と経塚	28
(11) 円妙寺	32
(12) 取手山館	35
(13) 飯塚館	41
(14) 八幡神社	44
(15) 赤レンガの校門	46
(16) 玉里の古民家	48
(17) 館山(稲荷)神社	50
(18) 大井戸湖岸公園	53

まほらに吹く風に乗って

<日本の美しい風景と歴史のプチディクショナリ>

地域に眠る埋もれた歴史シリーズ (19)

旧小川・美野里・茨城町に行く



ふるさと“風”の会

(はじめに)

旧小川町と美野里町は少し歴史的には趣が違う。玉里地区は別冊としたので、ここでは小川。美野里に茨城町を加えてまとめた。内容は少しまとまりがなくなってしまうが、全体を通して何か流れが見えてくるのではないかと思っている。

(目 次)

(1) 小川素鷲神社	1
(2) 旧小川町の街並み	4
(3) 天聖寺跡(旧小川町)	7
(4) 稽医館(小川)	14
(5) みみっちょ様	17
(6) 海から来た石の仁王像	21
(7) 潮宮神社	25
(8) 栗原掃部衛門碑	27
(9) 息栖神社(小美玉市)	29
(10) 竹原神社(小美玉市)	31
(11) 日限地藏尊と地藏塚古墳(小川)	35
(12) 鹿島神社(元郷社、旧小川町下馬場)	38
(13) 中野谷の熊野神社(小美玉市)	42
(14) 三所神社(小美玉市三箇)	45
(15) 貴布禰神社(小美玉市堅倉)	48
(16) 池花池・ヒツジ草と白鳥	52
(17) 小幡北山埴輪製作遺跡	55
(18) 上ノ山古墳(茨城町)	58
(19) 大戸の桜と夷針神社(茨城町)	60
(20) 福性寺と飯沼城跡(茨城町)	64
(21) 穢跡金剛(慈雲寺)と息栖神社	68

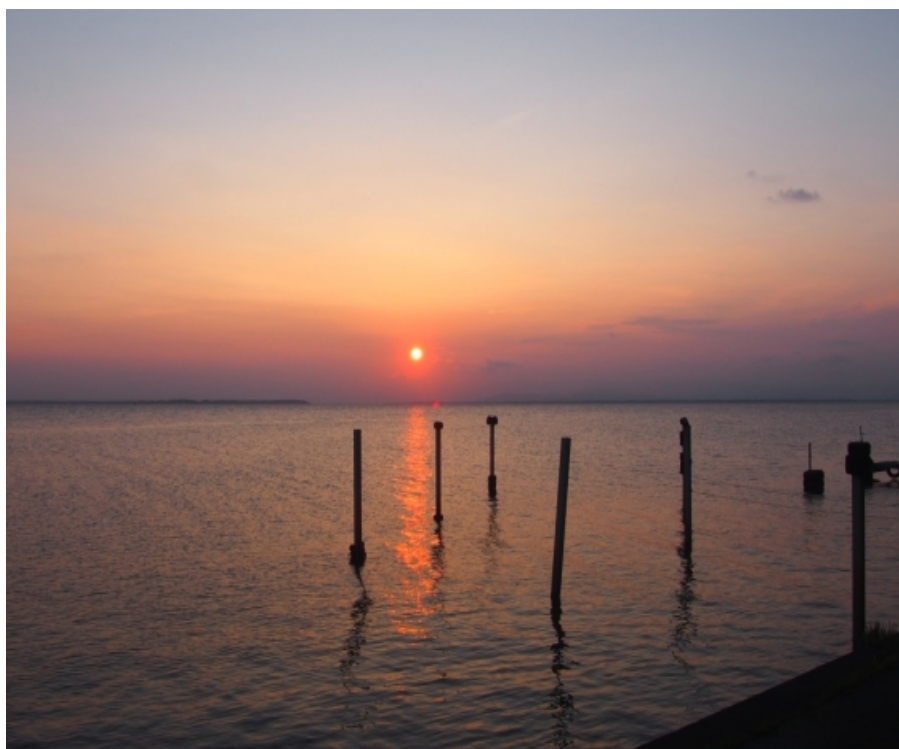
まほらに吹く風に乗って

<日本の美しい風景と歴史のプチディクショナリ>

地域に眠る埋もれた歴史シリーズ (20)

行方地方 (上)

常陸国風土記と行方の里



ふるさと“風”の会

(はじめに)

行方(なめがた)地方はヤマタケル伝説や常陸国風土記に多くの地名が紹介された場所が多く存在します。これはこの地への大和朝廷の進行が少し遅れた場所であったのではないかと考えられます。常陸国風土記を理解する上でも、また当時の様子を創造するためにもこれらの関連が指摘されている場所を訪れてみました。

解釈はそれぞれに分かれますが、その地に行って、今から1300年～1500年ほど前を創造するのも楽しいものとなりそうです。

また、北浦方面の気になる場所や潮来市の関連場所なども合わせて載せました。

(目次)

(1) 行方地方と常陸国風土記	1
(2) 玉清井	2
(3) 現原の丘(あらはらのおか)	7
(4) 梶無川と白鳥	9
(5) 鴨の宮	11
(6) 椎野池と夜刀神	14
(7) 荒原神社と八坂神社(手賀)	20
(8) 側鷹神社(小高)	26
(9) 行方市の鹿島神社・香取神社	30
(10) 行方の馬と麻生	32
(11) 香澄の里	35
(12) 芸都の里(化蘇沼稻荷神社)	39
(13) 大生と築地の里	44
(14) 橘郷	54
(15) 三味塚古墳	60
(16) 北浦国道354号線に沿って	61

まほらに吹く風に乗って

<日本の美しい風景と歴史のプチディクショナリ>

地域に眠る埋もれた歴史シリーズ (21)

行方地方 (下)

行方四頭と行方の里



ふるさと“風”の会

(はじめに)

行方地方を中世にこの地を支配した行方四頭のそれぞれの地区に分けて考えてみた。そこから何か文化の違いや何か眠っているような気がしてあちこち散策してみた。

(目次)

(1) 行方四頭	1	
(2) 小高の地を行く	3	
(2-1) 小高城跡 3	(2-2) 小高のカヤ 6
(2-3) 皇徳寺 8	(2-4) 常行院 10
(2-5) 橋門の阿弥陀様	... 14	(2-6) 福岡観音 16
(2-7) 於下鬼子母神	20	
(3) 島崎氏 (牛堀)	23	
(3-1) 島崎城跡 23	(3-2) 二本松寺(あじさい寺)	... 24
(3-3) 夜越川27	(3-4) 長国寺 (潮来) 30
(4) 麻生氏	33	
(4-1) 羽黒山公園と麻生城跡	...33	(4-2) 常安寺 35
(4-3) 麻生藩家老屋敷 36	(4-4) 本城薬師堂	... 40
(4-5) 海了寺	... 42	(4-6) 一乗寺 45
(4-7) 羽黒神社(七面大明神)佃煮創業の碑	... 53		
(5) 玉造氏と玉造	55	
(5-1) 玉造城跡と玉造郷校跡	... 55	(5-2) 大場家住宅 59
(5-3) 大宮神社 60	(5-4) 一閑寺 63
(5-5) 玉造街中散歩	... 65	(5-6) 宝幢院 66
(5-7) 萬福寺(重盛所縁の寺)	... 68	(5-8) 西蓮寺(常陸高野)	... 70
(5-9)常福寺の山門 (沖洲)	... 73	(5-10) 玉造素鷲神社	... 80
(5-11) 境稻荷神社(横須賀)	83	
(5) 芹沢氏と行方地方	86	

まほらに吹く風に乗って

<日本の美しい風景と歴史のプチディクショナリ>

地域に眠る埋もれた歴史シリーズ (22)

常陸太田・常陸大宮・ 那珂・城里に行く



ふるさと“風”の会

(はじめに)

ここでは常陸国国府であった石岡から真北へ北斗七星を目指して鷲子・美和・高部地方へ行く途中にある城里町などを中心に気になる神社仏閣などを見て回った時を記しています。この通り沿いにはどこか古くからの歴史の流れがあるように感じています。

そんな思いがどこまで伝わるかはわかりませんが、あまり紹介されることも少ない地域でもありますので、これを読んで興味を持っていただける場所がありましたら、花の寺巡りなどと合わせて一度訪れていただければと思います。また常陸太田市と那珂市額田地区も別途訪れましたので同時に掲載しました。

(目次)

常陸太田市

- (1) 西山荘 …… 1 (2) 佐竹寺 …… 6

那珂市額田

- (3) 額田城跡 …… 11 (4) 額田神社 …… 14
(5) 毘慮遮那寺 …… 16 (6) 引接寺 …… 18

城里町

- (7) 小松寺-平重盛の墓 …… 20 (8) 鹿島神社-悪路王面 …… 30
(9) 阿波山上神社 …… 34 (10) 石船神社 …… 39
(11) 徳蔵寺-弘法大師の寺 …… 42 (12) 壁面観世音像 …… 45
(13) 大山寺 …… 47 (14) 龍谷院 …… 49
(15) 萬歳藤 …… 51 (16) 粟野春慶 …… 52
(17) 那珂川大橋をわたり常陸大宮市へ …… 54

常陸大宮市

- (18) 常陸大宮市長倉宿 …… 56 (19) 蒼泉寺と長倉城跡 …… 61
(20) 那賀鹿島神社 …… 65 (21) 百観音 …… 69
(22) 立野神社 …… 71 (23) 江畔寺 …… 73

まほらに吹く風に乗って
＜日本の美しい風景と歴史のプチディクショナリ＞

地域に眠る埋もれた歴史シリーズ (23)

日立・御岩・大子に行く



ふるさと“風”の会

(はじめに)

茨城県の県北地方の南部である日立の海岸側から内陸部に移動し、袋田の滝のある大子町までの間を散策してまとめてみた。

この冊子は旅をするための観光冊子ではないため、一般の観光地の紹介は最小限にとどめている。パワースポットして最近注目を集めている「御岩神社」などとても気になる神社も見られた。これからいろいろ考えていくためにも一度は訪れたい場所である。

(目次)

(1) 鶺鴒の岬	1
(2) 川尻浜	6
(3) 小貝浜	8
(4) 大甕神社(倭文神宮)	10
(5) 日立の大煙突	18
(6) 御岩神社	26
(7) 玉簾寺と玉簾の滝	35
(8) 十二所淵(常陸大宮諸沢)	37
(9) 奥久慈清流ライン	39
(10) 西の内和紙	41
(11) 久慈川-家和楽の桜	43
(12) 長福寺(大子)	44
(13) 永源寺(大子)	46
(14) 常陸大子駅	50
(15) タバッコ峠・栃原・アツプルライン	52
(16) 栃原金山	55
(17) 根渡神社(大子町)	58
(18) 袋田の滝	61
(19) 上岡小学校(大子町)	68

まほらに吹く風に乗って

<日本の美しい風景と歴史のプチディクショナリ>

地域に眠る埋もれた歴史シリーズ (24)

美和・高部・馬頭を行く



ふるさと“風”の会

(はじめに)

この鷺子・美和・高部地方は茨城県の北西部になります。また隣の馬頭地区は栃木県ですが、元水戸藩として同じ管理がされ歴史的には近いので同じ地域として取りまとめました。

茨城県の北西部とはいえ、石岡からはほぼ真北になります。

ここも何回か訪れてみて何か感じるものがありました。

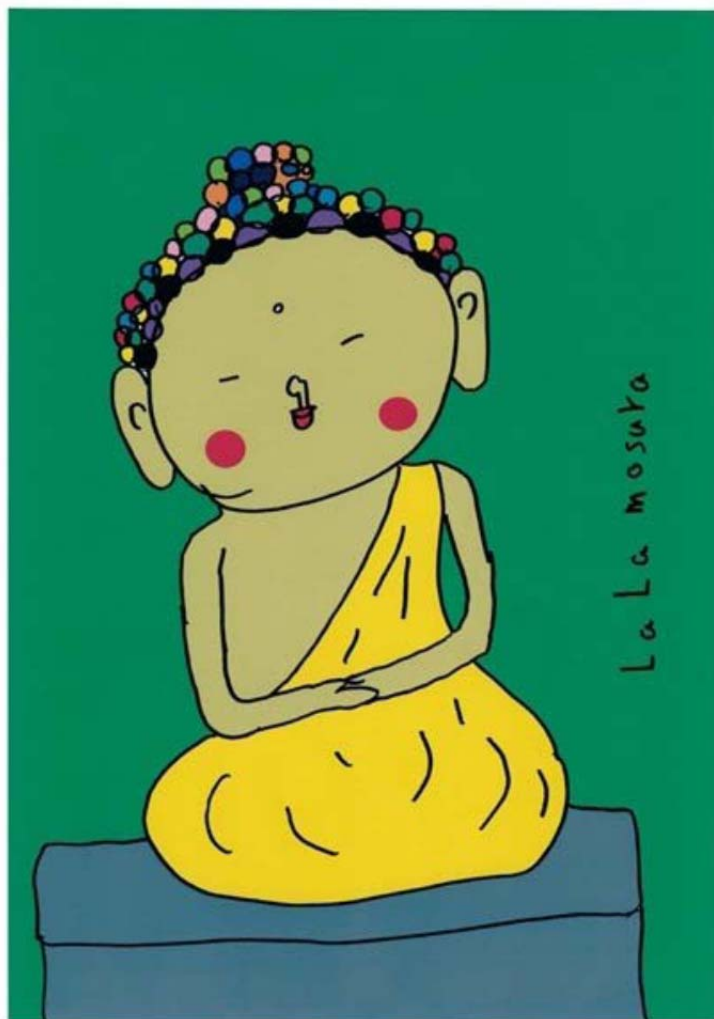
ぜひこの地域もこれがきっかけに訪れてみるのも良いと思います。

(目次)

(1) 鷺子山上神社	1
(2) 紙街道	7
(3) 三浦杉-(吉田八幡神社)	12
(4) アヤメ公園	19
(5) 諏訪神社(高部)	22
(6) 常陸大宮市高部の街並み	25
(7) タバッコ峠	40
(8) 道の駅みわ	44
(9) とりのこ道	49
(10) 馬頭広重美術館	52
(11) 乾徳寺(馬頭)	56
(12) 馬頭院	62
(13) 健武山神社-奈良東大寺に使われた金	66
(14) 雲巖寺(大田原市)	71
(15) 御前岩	78

地域に眠る埋もれた歴史シリーズ（別冊1）

石岡地方のふるさと昔話



ふるさと“風”の会

石岡地方の昔話 (目次)

・ 柏原池の美少女	3
・ 茨城童子 (竜神山の鬼)	8
・ 蛇の子を生んだ奴賀姫 (ぬかひめ)	12
・ 化け鼠と12匹の猫	16
・ 婆ヶ峰 (ばあがみね) と爺ヶ峰 (じじがみね)	20
・ 常陸国分寺の雄鐘・雌鐘の伝説	23
・ 鈴ヶ池と片目の魚	27
・ 護身 (ごみ) 地蔵	31
・ 子は清水	34
・ 爪書き阿弥陀	37
・ 三村落城秘話	40
・ 国分尼寺の黄金伝説	45
・ 吉生 (よしう) と峰寺山	48
・ 仏生寺と北向観音	50

地域に眠る埋もれた歴史シリーズ（別冊2）

茨城のちょっと面白い昔話



ふるさと“風”の会